

高圧ガス制御から水圧制御へ移行した孔内载荷試験装置

<AUTO LLT2>を導入

～全自動圧力制御により測定データの品質向上～

圧力源として高圧ガスを使用しない全自動の孔内载荷試験装置です。
高圧ガス制御から水圧制御へ移行したことで、次の 2 点が大きく変わりました。

1. 圧力源に水圧を用いる方が制御しやすく、全自動が可能となり、測定データの品質が向上。
2. ガスボンベや耐圧タンクを用いないことから取り扱いが容易で、軽量化され、安全である。

<孔内载荷試験装置とは？>

孔内水平载荷試験は、主に杭の設計に用いる地盤の水平方向の強度特性を把握する一般的な原位置試験です。

これまで、孔内水平载荷試験装置は手動で行われていたために、試験精度に個人差がありましたが、自動化により一定の精度の試験結果が得られるようになります。

今後は、建物建設の需要の拡大に伴い地質調査が増加し、孔内水平载荷試験も増加することを想定しております。



今まで使用していた LLT



今回導入の AUTO LLT2

お問合せ：協同組合土質屋北陸 TEL:076-268-4666 HP:090-8260-1507